

豊明市事務事業評価票（１７年度事業） ソフト事業及びハード事業用					
事業名	在宅介護推進事業（お試し在宅サービス）				
総合計画上の事業名		担当課 高齢者福祉課			
予算事業名	在宅介護推進事業	担当係 介護保険係			
事業の内容	介護認定を受けてから、６か月以上経過し次のいずれかに該当する人。 訪問介護を一度も利用したことがない人。 通所介護と通所リハビリを一度も利用したことがない人。				
事業の目的	在宅で介護認定を受けながらサービスの内容がよく分からない、本人がいやがるなどの理由で、介護サービスを受けていない方に対して事業を実施することにより在宅サービス普及・促進を図る。				
指標	在宅お試しサービス継続率（お試しサービスを実施された方が、引き続き在宅サービスを続けられることを目的とする。）				
事業実績及び目標	【実績値及び目標値】				
		実績（継続利用者）	目標（継続利用者）	職員数	事業費（決算見込額）千円
	平成１４年度				
	平成１５年度	１３人	２０人	０.１	３０４
	平成１６年度	１５人	２２人	０.１	６３３
	平成１７年度	１３人	２５人	０.１	６３３
	平成１８年度				
	平成１９年度				
	平成２０年度				
総合評価及び今後の対応	【達成率】 ５２％		成果指標の当該年度目標に対する達成度		
	【必要性】 B	必要性、有効性、効率性、市民満足度については、チェック表を基に A 大いにある、B 普通、C ほとんどなしから選択			
	【有効性】 A				
	【効率性】 B				
	【市民満足度】 A				
	【総合評価（担当課）】 D		総合評価については、		
	一定の成果をみたため、この事業は１７年度で廃止するのが適当と考える。		A 予定どおり進める		
	【総合評価（審査会）】 D		B 見直しが必要(手法等)		
	改革プランの内容に沿って廃止すること		C 見直しが必要(縮小)		
	【総合評価（最終評価）】 D		D 廃止が相当 から選択		
【改革プラン】 総合評価がB、C、Dの場合記入		評価理由についても記載してください			
民間の事業所の方でも、事業所を体験してもらうための、お試しサービスがあるので、今後はそちらへとひきついでいくのが適当と考える。					
【改革プランへの対応】（何をどのように実施したか）					
公的なサービスとしては実施をしないこととした。					